

関西協会ニュース

2002 年 12 月 14 日発行 第 33 号

『命のボランティアでつなぐ日韓交流シンポジウム』開催

命のボランティアでつなぐ日韓交流シンポジウム実行委員会 実行委員長 正岡 徹

2002 年 10 月 25 日 17:00 から日本造血細胞移植学会の開かれた大阪国際会議場グランキューブ大阪で「命のボランティアでつなぐ日韓交流シンポジウム」が行われました。関西協会、日本造血細胞移植学会、共生ユニット APURO まつばら、の共催で大阪府、大阪市、韓国民団、骨髄移植推進財団の後援を頂きました。日韓国民交流記念事業の 1 つとのことでした。

韓国から骨髄バンク会長のサンイン・キム先生、骨髄バンク国際委員のハーハン・リー先生、コーディネーターのユンハ・ナーさん、と日本からの骨髄で移植を受けられたジユンラック・キムさんが参加され、また中国の内科医で大阪大学に留学中の張 弦先生が参加されました。日本からは骨髄移植推進財団のコーディネーターの今中かな子さん、ドナーの荒濱健太郎さんが参加されました。

最初に学会長である大阪府立母子保健総合医療センターの河敬世先生からバリアーを超えようという挨拶があり、大阪の韓国系民族学校である建国小学校の子供たちが韓国民族楽器で郷土音楽プンムルノリを演奏し、ついで日本のひまわり幼稚園の子供たちがマリンバ演奏をしました。小さい子供たちが一生懸命にしかも大人もおよばない技術を示して演奏する様子は感動的でした。そのなかには骨髄移植を受けた子供さんも居られたようでした。シンポジウムは骨髄バンク国際委員である慶応義塾大学病院の岡本真一郎先生の司会で始まりました。キム・ジユンラックさんは軍人で慢性骨髄性白血病になり、日本からの骨髄提供を受けて移植に成功し、見た目もがっしりした精悍な様子で、現在全く元気で軍務についておられます。時期は違うのですが自分の骨髄が韓国に送られた荒濱健太郎さんもどこへおくられても人の命が救われることは嬉しいことだと話してくれました。これまで日本から韓国へ 58 件、韓国から日本へ 10 件の骨髄提供がおこなわれたそうです。韓国では 32000 のドナー登録があるそうで、ドナー登録数に対する骨髄提供数の比率は日本の場合と同様となっているようです。もっとも近い隣人同士で一層助け合いを深め、サッカーワールドカップでの日韓の共感をこれからも繰り返していこうと話しました。中国の張 弦先生も日本と中国の間にもこのような関係を作り上げたいと話されました。最後に大阪青年会議所の太鼓倶楽部「飛 炎」の皆さんが勇壮に和太鼓の演奏をされ、花を添えていただきました。

この模様は翌日の NHK ニュースや毎日新聞・28 日の大阪日日新聞・11 月 6 日の産経新聞に報道され、また一つの交流の輪が広がったと思いました。

『大阪守口市駅前での登録会について』

藤岡八重子（関西骨髄バンク推進協会 運営委員長）

10月11日、大阪府守口市の京阪守口市駅前で献血併行型の登録会が開催されました。大阪府で初めて献血の検査針で骨髄バンクの登録の検体を採取することになりました。

この会場は献血者が300人と予想され、又街頭献血という条件です。関係者はこれから移動献血併行登録を続けて行くために、今回の登録会は絶対に失敗してはいけないと思っていました。

献血の主催者である守口ライオンズクラブ様をはじめ、大阪府、日赤、と何回も打ち合わせをしました。PRも市の広報、ポスター掲示、FM出演、新聞報道と守口市役所、守口保健所等多くのご協力を得ました。

当日は、大阪府の担当者の方、大阪府血液センター矢内所長、北大阪血液センター柴田所長をはじめ、大阪の3センターの登録課長、係長、渉外課の皆様、検査の方々など多くの人の見守る中スタートをしました。守口ライオンズクラブの会長様をはじめ浜上幹事様、福永献血委員長様には大変お世話になりました。献血バスのある地上は人の流れも少なく、用意していた2000枚のピラを配るだけの人通りはありませんでした。柴田先生とは、人の流れなどを確かめに行ったりもしました。人の流れは地下に集中しているようでした。それでも天気には恵まれ、トラブルもなく済ませることができました。

私たちは、献血者数の減少という事のないように献血の呼びかけも一生懸命致しました。また献血のできる人は献血もしました。献血者は238人、登録者28人でした。

16日には北大阪血液センターにおいてライオンズクラブ、血液センター、関西協会（財団）が集まって反省会をしました。大阪でも移動献血登録ができる事を願い、確信しました。

～この登録会で多大なるご協力をいただきました守口ライオンズクラブ様は、11月3日に行われた守口市市民まつりの際にも募金の呼びかけにご協力を下さり、54,268円のご寄付をいただきました。ご支援に感謝申し上げます。～



『和歌山の休日集団登録会 現状』

貴志政人（地区普及広報委員、和歌山骨髄献血の和を広げる会）

今から200年前に世界最初の「全身麻酔」による乳癌（乳癌）手術を成功させた華岡青洲の里で、「青洲さんに笑われんよう性根入れて説明せんと・・・」と喝を入れながら臨んだ集団登録会（『青洲まつり』とタイアップ）が開催されました。幼い子供から老人まで楽しませてくれる行事がピッシリで、行政の方も「和歌山和の会」のボランティアの方達と一緒に汗を流して頂きました。と私のピンチヒッター新名地区普及広報委員からのレポートでした。

3年前、県薬務課と相談し、南北に長い和歌山県内全域にPR兼ドナー登録をして行くには、県が中心に各地方の賑わう所を会場として、各保健所（8箇所）に協力を貰って開催して行くことに決めました。現在、県管轄の各保健所管内及び県独自で、地方のイベントとタイアップし、休日登録会を県内隅々まで廻っています。秋は各地のイベントが多く、毎週のように登録会があり、楽しい一日を過ごさせて頂いています。今年度から、和歌山市が「骨髄バンク推進事業」を開始し仲間入りしました。

和歌山県、和歌山市、各保健所及びデータセンターのみなさんに感謝しています。

『真由子 空を飛ぶ!?』

貴志真由子

今年の夏にハワイへ旅行に行ってきた。お父さんが行けないということだったので、女3人の旅だった。飛行機は、離陸と着陸の時がやっぱり怖かった～。

ハワイに着いた時に、ガヴァジュースというのを渡してくれた。これが美味しかった～～～！！ハワイにいたとき、ずっとガヴァジュースを飲んでいた。

ホノルル市内をドライブした。まゆが一番行きたかった、「モアナルアガーデン」に行った。ここは、“この～きなんのき”の日立の木があるところ。すごく大きい木がいくつもあったけど、日立の木はいちだんと大きかった。綺麗な公園で、犬も散歩していないし、自販機もなかった。ゴロゴロ寝転がって遊べるくらい、綺麗な公園だった。まゆが行ってるときも、親子連れみたいな人たちがピクニックをしていた。カメハメハ大王像の所にも行ってきた。



モアナルアガーデン

船のディナーショーにも行った。アメリカは、料理の量にビックリだ！！スゴイ量が出てきて、全然食べ切れなかった。お客さんも乗務員さんもみんな、歌って踊って楽しかった！！ヽ(^0^)/これは、お母さんが新婚旅行で行けなかったところ。理由は、お父さんが船に弱かったかららしい。

ポリネシアンディナーショーにも行ってきた。歌がスゴク上手な人がいた。ファイヤードダンスは迫力があつた。男のダンサーさんは、あまりスマートな人よりもムッチョマッコな人の方が似合うかも。

ワイキキの海に、足をちゃぷちゃぷさせてきた。同じ太平洋なのに、日本で見る海とどうしてこんなに色が違うんだろう？？と思った。ワイキキの海は真っ青なのに、日本の海は緑っぽい色をしている(--;)ハワイは湿気が少なくカラッとしていたのに、日本に帰ってくるとベターとなった。



船でのディナーショーにて

ハワイの空港は、エレベーターを使わずに入ったフロアーから飛行機に乗れた。けど、関西空港はエレベーターを使うにも端っこに行ったり、“ココのドアを開ければどこに出るんだろう！？”ってような所にエレベーターがあつたりした。もうちょっと考えてつけてほしいと思った。

またお小遣いをためて、今度はどこに行こうかなあ～。

～～「ラポール」(患者支援事業)スタート時から「真由ちゃんねずみ」でおなじみの貴志真由子さん。移植後のリハビリを兼ねて次々と可愛い手作りマスコットを生み出す彼女は骨髄バンクへの支援も息長く続けて下さっています。

この夏、その売上げから還元された手間代をコツコツ貯めて、いざ、ハワイへ！

搭乗したノースウエスト機の客室乗務員の方たちも「真由ちゃんねずみ」をよく知っていて、後日メールで注文して下さいました。これからは世界へ羽ばたいて下さい！真由ちゃん！！～～

< イベント 報告 >

今号ではイベントに関わって下さった関係者の方々からも原稿をたくさんいただきました。

執筆いただいた皆さま、イベントにご参加くださった皆さま、本当にありがとうございました！

『大阪工業大学城北祭でのチャリティーバザー』

大阪工業大学ボランティア教育研究会 太田和哉

大阪工業大学「城北祭」にて、2002年11月1日・3日の二日間、関西骨髄バンク推進協会の協力を得て「チャリティーバザー」を開催することができました。バザーでは、貴志真由子さんのねずみのマスコットを扱っていただき、小さなお子さんからご年配の方まで、幅広い年齢層の方々に「かわいい」と好評でした。またこのバザーは昨年も開催しており、それを覚えていて、わざわざねずみのマスコットを探しに来られた方がいたこともうれしい印象でした。

本来、地域の社会福祉施設や、その他の福祉団体などの活動を紹介することを目的として開催したこのバザー。購入していただいた方々に十分な説明ができたでしょうか。目的は全うできたでしょうか。といった不安や反省はありましたが、私たち自身が「骨髄バンク」に関心をもつきっかけになったと思います。

『骨髄バンクチャリティーボウリング代会に参加して』 田代貴久（大阪骨髄献血の和を広げる会）

平成 14 年 8 月 25 日、新大阪のイーグルボウリング場にて骨髄バンクチャリティーボウリング大会が催されました。スポーツ大好き乙女の杉本敦子（大阪骨髄献血の和を広げる会）さんが「今、ボウリングが静かなブームになっているのでボウリングでチャリティーせえへん！」の一言で大阪和の会主導でボウリング大会が執り行われました。

ボウリングは、老若男女が楽しめるファミリーなスポーツなので、今回も幼児から中年までの幅広い人々、32 名が参加し、和気藹々とゲームを楽しんでおられました。優勝は、当ボウリング場の常連さんで杉本さんの友人である前田雅子様が獲得され、関西協会会長の正岡先生より優勝商品のキックボードが授与されました。

今回大会で 43,326 円の収益が有り、参加されました皆様には謹んで御礼申し上げます。

大会には、骨髄バンクに関係のない方が多く参加され、皆、「自分が楽しんでしたことが骨髄バンクに役立つのなら大変嬉しく、有意義で、また参加してみたい。」と言っていた事が励みになります。

『“明日への扉”公演にて』 中井麻里

9 月 26 日(木)大阪スクールオブミュージック専門学校主催「骨髄移植推進キャンペーンミュージカル“明日への扉”」で訴えかけをさせて頂けるとの事で、長女 海里、長男 耀（先天性代謝異常症、患者 3 才）と母親の私で昼の部、夜の部と両方参加しました。

平日だと言うのに NHK ホールは大盛況で満席、夜の部は入れなくてあきらめた人も多数いらしたみたいです。

ミュージカルを見るのは初めてで学生さんのストレートで汚れない歌声に始まって早々から感動していたのも束の間、本格的な音響に途中から子供達がついてゆけず退場…。控室のモニターで拝見しました。

内容はミュージカルスターを目指すダンサー達の一人が白血病で倒れ、ライバルや仲間達に色々な波紋を投げかけるといものですが、発病した本人の気持ちはもちろん、ドナー登録する人の不安とドナーに選ばれた人の迷いやその周りの人々の考えが、かなり具体的に折り込まれていたのには驚きました。エンディングのゴスペルアンサンブルの後、夏目雅子ひまわり基金の小達氏に助けて頂き、母子 3 人で舞台に立ち、骨髄バンクへのドナー登録のお願いをしました。

マイクを持ち、舞台に立った時はライトが眩しく、舞台下のオーケストラピットにおられるバンドの学生さんのうちの 2～3 人が振り返っているのが見えた位だったのですが、帰り際に 2 回の公演とも 1000 人以上のお客さんが入っていたと聞いて腰が抜けてしまいました。

お客さんは学生さんや若い人がほとんどでしたので、これを機会にドナー登録して下されば万万歳、耀くんのことを少しでも身近に感じて忘れないでほしいです。

～中井さん親子の記事がバンクニュース最新号（Vol.21 2002 年 12 月発行）に掲載されています。併せてご覧下さい～

『家庭教育学級の人権学習会にて』 茨木市立郡小学校家庭教育学級 委員長 栗林歩美

去る 10 月 15 日に郡山・郡小学校、家庭教育学級の人権学習会として、藤岡八重子様にお越し頂き「骨髄バンクについての講演」を聞くことができ参加者一同大変多くのことを学べたと喜んでおります。

3 才で娘さんが白血病になった時の様子、5 才で告知したこと、10 才で再発されてからのこと、また娘さんに生きる希望を持たせるためにも「骨髄バンク」設立にがんばられたことなど、どのお話も実体験によるもので大変胸をうつものでした。

また、他の 2 人の子供さんをほったらかしにしてしまった後悔など小学生の子供を持つ母として育児についても考えさせられました。

今回、骨髄バンク事業について、ドナー登録について、骨髄移植で治せる病気についてなど多くのことを学ぶことができました。これから大切なのは、関心を持ち続けていくことだと感じております。貴重なお話を頂き本当にありがとうございました。

『三洋電機ボランティアセミナー』

三洋電機 金沢伸昭

去る10月23日、三洋電機守口本社にて、三洋電機ボランティア推進委員会主催によるボランティアセミナー「骨髄バンクについて」が行われました。主な内容は、関西骨髄バンク推進協会の西村さんによる骨髄バンクの活動や移植についての説明と、移植を待っておられる耀くんのお母さんである中井麻里さんのお話、そして私も以前骨髄提供をさせていただいた際の体験をいろいろお話させていただきました。

受講者は35名ほどの参加でしたが皆熱心に話を聴いてくださり、受講後のアンケートでは「それぞれの方の体験談には説得力があり、身近なこととして感じられた」「体験者の話を直接聴くことができて不安がなくなった」といった意見が多く寄せられました。また、「自分にとっても登録のチャンス」「身近な人に登録を勧めていきたい」など、骨髄ドナー登録への積極的な参加を期待できる感想もあり、話をしたことが少しでも役に立ちそうで嬉しく思いました。

日ごろからパンフレットやTVCM・ホームページなど、いろいろなメディアで骨髄バンクの活動を知る機会がありますが、やはり人の心に深く届くのは人から人への直接の言葉なのかも知れない、とあらためて感じました。

『大阪府立大学白鷺祭での勉強会・登録会』

大阪府立大学 鈴木惇高

11月3日・4日、僕は友好祭実行委員会として白鷺祭に出展した骨髄バンクの勉強会・登録会において担当者という仕事をした。僕自身、こういった関係の仕事にたずさわるのは初めてだったので、担当者に決まったときは不安でいっぱいだった。特に骨髄バンクというものに対して無知に近かったので、まずはその勉強から始まった。関西協会の加納さんと話し合っていくうちに、少しずつ骨髄バンクがどういったものかわかっていった。

白鷺祭当日、1日目の勉強会で、僕は担当の仕事があったので全てを聞くことはできなかったが、骨髄移植経験者である橋孝明さんの話ではパンフレットや説明ビデオでは学ぶことのできないものを学ぶことができた。2日目の登録会では思っていたよりも多くの方が来てくれた。1人の人に対して、登録にかかる時間が1時間弱で、説明もかなり丁寧に行われているのを見てみると、骨髄バンクの登録は気軽な気持ちで会場に足を運び、簡単に登録してはいけないんだなと感じた。それと同時に、生命の大切さ、重みを感じることができた。

今回の仕事を終えてみて感じたことは、まだまだ「骨髄バンク」というものに対する理解度はみんな低いということである。もちろん僕もそうであるが、まだ骨髄バンクがどんなものかと言われてピンとくる人はそんなに多くはないと思う。もっと「骨髄バンク」というシステムの認知度が上がれば登録者も増えると思った。今回、本当に良い経験をさせてもらいました。ありがとうございました。

『大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会によるチャリティーバザー』

11月9日(土) 於：大阪府立健康科学センター

<参加者> 大久保昌子(清明学院高等学校3年生) 森嶋真菜(清明学院高等学校1年生)
 大塚梨恵(清明学院高等学校1年生) 柴田 喬(金光藤蔭高等学校2年生)
 松村直樹(金光藤蔭高等学校2年生) 清水田茂之(大阪府立大東高等学校1年生)

- * 今年の春に日本赤十字社のスタディーセンターで話を聞き、骨髄移植と骨髄バンクの大切さを知りました。そして、7月と11月のバザーに参加させていただきました。私はおかげさまで健康ですので今後も骨髄バンクのバザーに参加したいと思います。(大久保)
- * 物を売るのに大切なお客様とのコミュニケーションが今回はあまりとれていなかったのが、次回参加できたらこの点を改善していこうと思います。それから、何のためにバザーをしているのかということもわかってもらえるように、私自身も骨髄バンクについて勉強しようと思います。(森嶋)
- * 最初は商品が売れるのか、とても不安でしたが自分たちで声を出し宣伝したので次々とお客さんが集まってくれて売れていきました。自分にとってもいい経験になったのでまた参加したいと思います。(柴田)
- * 販売経験のない僕にとって、声を出すだけでも勇気がいりました。それでも、やっているうちにだんだん楽しくなってきた、寒さも忘れて一生懸命売りました。またこのような機会があれば参加して、少しでも多くの人役に立てればうれしいと思います。(松村)
- * 今回は最初から用意してあるものをただ売っただけでしたが、少しでも自分達で集めたものを売っていたら喜びも大きくなったろうし、やる意味も大きかったんだろうなあと思いました。このようなことが少しでも患者さんのためになるなら、何回でもしたいと思いました。(清水田)

～ 尚、この日の売上げ 54,008 円を当協会へご寄付いただきました ～

骨髄バンクニュースダイジェスト

(マンスリーレポート 2002/11/20 より)

- 1. ドナー登録数は16万人超、目標まであと14万人 累計では20万人超 (2002年10月末)
- 2. 11月の登録会。2000人の登録でも黄信号点滅。

10月のドナー登録者数は2486人で、取消者数は396人、実質増加数は2090人でした。本年度に入り月間登録者数として、はじめて2000人を上回りましたが、それでも昨年の10月の登録者との比較では86.1%と、連続4カ月間、登録者数が前年同月比を下回り、目標達成への黄色信号が点滅しています。

登録会の回数は、138回(そのうち献血併行102回)が実施され、合計1527人の方にご登録をいただきました。前年同月との比較では、回数では151.6%(献血併行200.0%、集団登録90.0%)、登録者数では97.9%(献血併行118.3%、集団登録78.2%)で、固定の窓口での登録減少が目立っており、登録者数は71.9%でした。

- 3. 12月は骨髄バンク推進月間、全国一斉登録会の開催をお願いします。

12月は、骨髄バンク推進月間です。今年度は全国大会の開催はいたしません、「全国一斉ドナー登録会」を実施します。既に当財団から関係機関へ協力要請の依頼を申し上げ、日本赤十字本社から各血液センターへ通知を出していただいておりますが、10月28日、厚生労働省が都道府県、政令市に対し「骨髄提供希望者の確保について(協力依頼)」を发出了しました。内容は、ドナー登録会の成果を評価、政府審議会は献血併行ドナー登録会を有効な手段と評価し、地方自治体への浸透を重要視、献血併行ドナー登録会への協力と関係者間の連絡調整を地方自治体へ要請、12月の「全国一斉ドナー登録会」の実施を呼びかけるというものです。

- 4. 日韓交流シンポジウム開催 10月25日 於：大阪国際会議場 詳細は1ページ参照

- 5. 新ポスターは夏目雅子さんニューヴァージョン

今年も推進月間にあわせ、骨髄バンク啓発ポスターを作成します。前回好評を得た夏目雅子さんが、新ヴァージョンで再登場します。12月上旬から、都道府県、市町村、保健所などの行政機関、全国の郵便局などに掲出されます。A2、B2、A3の3サイズを用意いたしますので、皆様もご活用ください。

- 6. 中溝裕子さん「筆文字カレンダー」 1冊につき100円が骨髄バンクに寄付

妹さんから骨髄移植を受けたプロゴルファー中溝裕子さんは、昨年の全国大会をはじめ、骨髄バンクの啓発活動にご協力をいただいています。入院中にはじめた筆文字は、多くの方々に元気と勇気と感動を与える作品となっていますが、この度「2003年 筆文字カレンダー」を制作されました。中溝さんの所属するプロダクションのホームページ(下記参照)から購入の申し込みができます。税込価格1200円、1冊につき100円が当財団にご寄付されます。 <http://www.s-rights.co.jp/>

お詫び：10月号のマンスリーレポートの四半期のデータの国際協力事業の状況に誤りがありました。訂正させていただきます。

韓国 日本 誤) 骨髄提供49件 正) 骨髄提供58件

日本骨髄バンク骨髄提供登録者(ドナー)・骨髄移植希望者登録状況 (2002年11月末)

	全国	関西	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
ドナー登録者数(11月末)	160,975	23,739	1,606	4,238	9,465	5,898	1,516	1,016
移植希望者登録数(11月末)	1,949	226	12	41	92	54	15	12

ドナー登録会の報告

2002年9月~11月 当協会・加盟団体関係分

月	日	曜	実施形態	県	市	場所	登録数
10	6	日	集団登録	和歌山県	那賀郡	青洲の里	5
10	10	木	集団登録	京都府	福知山市	福知山保健センター	13
10	11	金	献血併行型	大阪府	守口市	守口市駅前	28
10	12	土	集団登録	和歌山県	橋本市	和歌山県立橋本体育館	11
10	19	土	集団登録	和歌山県	御坊市	御坊市立体育館	3
10	27	日	集団登録	和歌山県	白浜町	白浜会館	7
11	3	日	集団登録	和歌山県	下津町	保健福祉センター	3
11	4	祝	集団登録	大阪府	堺市	大阪府立大学	15
11	9	土	集団登録	和歌山県	和歌山市	県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛	16
11	19	火	集団登録	京都府	美山町	美山町文化ホール	3
11	21	木	献血併行型(職域)	大阪府	岬町	関電労組多奈二支部	1
11	21	木	献血併行型(職域)	大阪府	大阪市	関電労組南港支部	2
11	23	土	集団登録	和歌山県	和歌山市	和歌山市保健所	1
11	29	金	献血併行型(職域)	大阪府	大阪市	関電労組大発支部	6

各地の活動報告と今後の予定

9月

- 9/7 運営委員会・関西協会ニュース封入作業(関西)
- 9/7 セレッソ大阪 vs 横浜 FC にて啓発(関西・さかい)
- 9/8 茨木市保健センター「健康展」にて啓発(大阪)
- 9/13 中日新聞『母さん子守歌うたって』記事掲載(滋賀)
- 9/14 セレッソ大阪 vs フロンターレにて啓発(関西・さかい)
- 9/21 JR 和歌山駅前にてティッシュ・リフレット・チラシ配布(和歌山)
- 9/22 三通商店街 N P O フェアにてチラシ配布(さかい)
- 9/27 朝日新聞『母さん子守歌うたって』記事掲載(滋賀)

10月

- 10/2-23 信楽町図書館にて「神山清子・賢一母子展」(滋賀)
- 10/4 安土町・五個荘町の公共施設に「チャンス」設置(滋賀)
- 10/5 京都新聞「神山母子展」の記事掲載(滋賀)
- 10/5 「こがも通信」に『母さん子守歌うたって』記事掲載(滋賀)
- 10/6 岩出保健所にて「休日ドナー登録会」(和歌山)
- 10/6 「滋賀県臓器移植・骨髄移植推進キャンペーン」(滋賀)
- 10/6 尼崎市民まつりにて啓発(関西・大阪)
- 10/10 福知山市市民まつりにて啓発・登録会(和の会)
- 10/11 守口市駅前にて献血併行型登録会(関西・大阪)
- 10/12 高野口保健所にて「休日ドナー登録会」(和歌山)
- 10/12 毎日新聞『母さん子守歌うたって』記事掲載(滋賀)
- 10/12 運営委員会・フリーマーケット(関西)
- 10/12-14 「信楽土まつり」にて啓発(滋賀)
- 10/13 読売新聞『母さん子守歌うたって』記事掲載(滋賀)
- 10/15 県の担当者との今後の活動についての打合せ(滋賀)
- 10/16 朝日新聞「神山母子展」の記事掲載(滋賀)
- 10/17 陸上自衛隊駐屯地に「チャンス」設置のお願い(滋賀)
- 10/17 志賀町・今津図書館に「チャンス」設置(滋賀)
- 10/19 県業務課にて「休日ドナー登録会」(和歌山)
- 10/20 「おおつ健康フェスティバル」にて啓発(滋賀)
- 10/23 毎日新聞『母さん子守歌うたって』記事掲載(滋賀)
- 10/24・25 造血細胞移植学会会場にて作品の展示販売(関西)
- 10/25 命のボランティアでつなぐ日韓交流シンポジウム(関西)
- 10/26 セレッソ大阪 vs ヴァンフォーレにて啓発(関西・さかい)
- 10/27 田辺保健所にて「休日ドナー登録会」(和歌山)
- 10/ 彦根市市役所・公共施設に「チャンス」設置(滋賀)

11月

- 11/1・3 大阪工業大学城北祭にて作品の委託販売(関西)
- 11/3 海南保健所にて「休日ドナー登録会」(和歌山)
- 11/3 「二五八まつり」(八日市市)にて啓発(滋賀)
- 11/3 守口市市民まつりにて啓発(大阪)
- 11/3 大阪府立大学白鷺祭にて勉強会(関西)

- 11/4 大阪府立大学白鷺祭にて登録会(関西)
- 11/5 毎日新聞『母さん子守歌うたって』記事掲載(滋賀)
- 11/9 骨髄バンク集団登録会 P R チラシ配布(さかい)
- 11/9 県業務課にて「休日ドナー登録会」(和歌山)
- 11/9 大阪府高等学校青少年赤十字メンバーフリマ(関西)
- 11/9 セレッソ大阪 vs ホリホックにて啓発(関西・さかい)
- 11/10 『ヤングフェスティバル』にてチラシ配布(さかい)
- 11/10 和歌山大学学園祭にてフリーマーケット(和歌山)
- 11/16 第 23 回労働者福祉まつりにてフリーマーケット(和歌山)
- 11/16 セレッソ大阪 vs アルビレックスにて啓発(関西・さかい)
- 11/16・17 動物臨床医学会にて啓発(関西)
- 11/17 「多田そうべいふれあいコンサート」にて啓発(滋賀)
- 11/21 関西電力労働組合多奈二支部登録会(関西)
- 11/21 関西電力労働組合南港支部登録会(関西)
- 11/23 『堺市農業祭』にてチラシ配布(さかい)
- 11/23 和歌山市保健所にて「休日ドナー登録会」(和歌山)
- 11/29 関西電力労働組合大発支部登録会(関西)

12月

- 12/2 関西電力労働組合奈良支店支部登録会(奈良)
- 12/3 関西電力労働組合奈良支部登録会(奈良)
- 12/4 関西電力労働組合東大阪支部登録会(関西)
- 12/4 関西電力労働組合東住吉支部登録会(関西)
- 12/8 阪急グランドビルにて登録会(関西・大阪)
- 12/10 関西電力労働組合奈良高田支部登録会(奈良)
- 12/11 関西電力労働組合我孫子支部登録会(関西)
- 12/14 JR 和歌山駅前にて街頭啓発(和歌山)
- 12/15 堺市役所にて登録会(関西・大阪)
- 12/15 栗東市にて「休日ドナー登録会」(滋賀)
- 12/17 関西電力労働組合扇町・北支店支部登録会(関西)
- 12/19 関西電力労働組合岸電支部登録会(関西)
- 12/23 第 2 回関西骨髄バンク支援チャリティーゴルフ大会
- 12/25 関西電力労働組合岸和田支部登録会(関西)

第 2 回チャリティー囲碁大会のお知らせ

日時：2003 年 1 月 18 日(土) 13:00~17:00
 場所：大阪府立健康科学センター
 内容：碁会・指導碁・入門講座
 書画等作品・患者さんの手作り作品展示即売
 会費：5,000 円(指導碁は別途 5000 円)
 郵便振替 00980-6-47299 骨髄バンクチャリティー実行委員会
 ~お申込み・お問い合わせは関西協会事務局まで~
 *詳しくは同封のチラシをご覧ください。
 *前号の関西協会ニュース及びチラシにてお知らせしておりました日程に誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。

心よりのご寄付に感謝申し上げます

2002 年 8 月 21 日 ~ 11 月 25 日(敬称略・順不同)

個人

藤岡八重子	10,300 円	宮田卓	1,000 円	西田睦子	5,000 円
坪佐勇	1,000 円	北之坊皓司	3,000 円	今中かな子	10,000 円
坪佐寿一	1,000 円	黒木祥子	7,000 円	西井幸代	3,000 円
坪佐純治	1,000 円	金谷俊良	50,000 円	加藤早苗	10,000 円
木下美好	1,000 円	浅見七恵	5,500 円	野口真嗣	100,000 円
高橋真二	1,000 円	金沢鐘日	1,000 円	とんぼ玉グループ	42,237 円
山本清孝	1,000 円	豊田一枝	3,000 円	匿名	1,367 円
前田理	1,000 円	松森伸宏	2,000 円	匿名	2,000 円
平利明	1,000 円	白壁歌子	10,000 円	匿名	1,000 円
平弥里	1,000 円	神宮清子	3,000 円	匿名	7,000 円
平有希	1,000 円	伴美和	5,000 円	匿名	1,000 円
金沢鐘揚	5,000 円	土本宗丘	7,000 円	有志多数	バザー用物品
宮田正幸	3,000 円	船戸多希子	12,000 円		
宮田孝子	3,000 円	西田龍三	10,000 円		

団体寄付

国際ソロプチミスト奈良-あすか	30,000 円	大阪府高等学校青少年赤十字クラブ-連絡協議会	54,008 円
大阪東淀ロータリークラブ	100,000 円	キリンビール株式会社 医薬カンパニー	500,000 円
大阪府健康・生きがいがづくりアドバイザー協議会	23,500 円	三洋電機ボランティア推進委員会	商品券
福知山東ライオンズクラブ	100,000 円	マスターズ空手道選手権大会実行委員会	バザー用物品
福永建設株式会社	10,000 円	第 25 回日本造血細胞移植学会会長 河敬世	学会 T シャツ
守口市民まつり募金(協力:守口ライオンズクラブ)	54,268 円		

団体賛助会費

全印刷局労働組合彦根支部	10,000 円	国際ソロプチミスト六甲	10,000 円
東大阪短期大学	10,000 円	明石北ライオンズクラブ	10,000 円
国際ソロプチミスト大阪-りんくう	10,000 円	泉佐野中央ライオンズクラブ	10,000 円
尼崎ライオンズクラブ	10,000 円	国際ソロプチミスト大阪-門真	10,000 円
国際ソロプチミスト福知山	20,000 円	両丹日日新聞社	10,000 円

*前号(第 32 号)の団体賛助会費欄に記載漏れがありました。ここに掲載させていただき、心よりお詫び申し上げます。

フジモト眼科 30,000 円

助成寄付金

(有)ダイワ通販 6 月 43,986 円 (有)ダイワ通販 7 月 31,417 円 (有)ダイワ通販 8 月 23,147 円

皆様の心よりのご寄付をお待ちしております。

お振込先 大和銀行 本店公務部 普通 3652502
郵便口座 00970-3-64270

関西骨髄バンク推進協会 事務局
関西骨髄バンク推進協会

各会ではボランティアを募集しております

- * 骨髄バンクを応援するさかい TEL&FAX:072-273-0992
- * 骨髄献血の和を広げる会 TEL&FAX:0773-27-7693
- * 大阪骨髄献血の和を広げる会 TEL&FAX:06-6349-2002
- * 和歌山骨髄献血の和を広げる会 TEL&FAX:073-451-9528
- * 滋賀骨髄献血の和を広げる会 TEL&FAX:0748-83-0259
- * 奈良造血幹細胞移植を支援する会 TEL&FAX:0743-57-8050

関西骨髄バンク推進協会 TEL&FAX 06-6977-2123

〒537-8511 大阪市東成区中道 1-3-3 大阪府立成人病センター第三部長室内

E-mail : kankyo@mtc.biglobe.ne.jp URL : http://www5c.biglobe.ne.jp/~marrow/